

株主の皆様へ

第16期報告書

2008年10月1日～2009年9月30日

証券コード：3814

企業理念



アルファクス・フード・システムは、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを経営理念に、私たちが提唱する「食材ロスカット」「人件費ロスカット」を実現させる開発方針のもと、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しています。

社名の「アルファクス」とは、ギリシャ語で、物事の始まりを意味する「α」と、限りない可能性を秘めた「X」を結びつけた造語です。ご提案するソリューションの最初から最後まで、責任をもって取り組ませていただくという私たちの姿勢を示すものです。

この社名に、フードサービス業界専門の情報システム企業として、お客様とともに、業界発展のお手伝いをしたいという熱い思いを込めています。



外食チェーン情報システムの「ソフト」から「ハード」までの、主要3事業

ASPサービス事業

外食企業様に対して、売上分析・経営指標・在庫ロス分析・勤怠シフト管理・受発注・C K物流・財務連動システムまでの各基幹業務システムをご提供しています。

外食企業様の本部系基幹業務の精度を高めるために必要な店舗システム機器である「POSシステム」及び「オーダーエントリーシステム」の自社開発を行なっています。

システム機器事業

周辺サービス事業

外食企業様向け「ワンストップサービス」の一環として、外食関連の広範囲なWebサービスの提供や、システム機器などの保守・メンテナンスを行なっています。

アルファクス・フード・システムは、創業以来一貫して、食材／人件費ロス管理を中心とした、経営コストのロスを徹底追求することのできる「基幹業務システム・サービス」の提供を行なっています。

そして、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しております。

株主の皆様へ



株式会社アルファクス・フード・システムは、
平成21年度長年念願だった
基幹POSシステム機器「FOOD α 5000」の、
自社設計企画製品の発表をいたしました。

代表取締役社長

田村隆盛

業界で唯一、専用の「ハード(店舗情報システム機器)」と「ソフト(本部系基幹業務システム)」を
当社のみで手掛けている強みを活かし、お客様である外食企業様の「最大利益支援」に努めます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2009年9月期(第16期)は、前期にも増して外食産業には厳しい年となりました。

消費動向の冷え込みなどにより、中小飲食店の倒産件数が過去最大規模になるなど、大変厳しい状況となりました。

当社の主要顧客である大手外食チェーン企業様においても同様に厳しく、店舗の厳格な選別などで閉店が相次ぎ、業績に多大な影響が見られました。

そのため、度重なる設備投資の凍結などで当社の業績も影響を受け、特にシステム機器事業の予算が前期に引き続き大幅な未達となり減収減益となりました。

2期連続のこのような結果につきましては率直に申し訳なく思っており、深くお詫び申し上げます。

主力のASPサービス事業は前期比増にはなりませんが、既存顧客である大手外食チェーンにおいて解約チェーンはないものの、閉店店舗などが相次ぎ、閉店のサービス料減収分を新規チェーン獲得店舗で補えず、ASPサービス創業以来初めてのサービス店舗数減となりました。

前期、本格的に市場投入を予定しておりましたPC-POSシステム「FOOD α 5000」も、業界初の新機

能の開発などに予想外の時間を要し、実質前期出荷できなかったことも、システム機器事業の未達要因の一つであります。

来期(第17期)は、業界POSシステムの中では突出した性能を誇る「FOOD α 5000」や、新たに業界初となる有機EL搭載で、強度を業界最高水準に高めた「オーダーショット(ハンディショット)」の市場投入などを予定しております。すでに前期に大手チェーンを中心に商談も進んでおります。来期こそ更に業界シェアを拡大できるものと確信しております。

当社は専門会社として国内で唯一、外食業界情報システムの両輪とされる「店舗情報システム機器」と「本部系基幹業務システム」を1社で手掛けており、そのコストパフォーマンスにおいて、引き続き高い評価をいただいております。

これからも謙虚さと誠実さを忘れず、日々お客様の声に耳を傾け、外食産業の情報システムインフラとなるようサービスの向上に努め、株主・投資家の皆様のご期待にお応えしていく所存です。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。

AFS最大の強みは、『店舗情報システム機器』から『本部系基幹業務システム』を1社で手掛けられること。そして、外食企業様の業務を完全自動連動させ、ロス削減による最大利益確保を実現できることです。

大手外食チェーン企業にとって、二大原価（食材／人件費）削減から本来あるべき利益を確保していくことは最重要課題であり、店舗展開を行なう上で、その重要度は更に増していきます。しかし、これを実現することは極めて困難で、店舗、本部、CK、複数の外部取引先とのシステム完全連動に加え、異業態の混在や、業務サイクル、コンプライアンス、オペレーションの徹底等、様々な課題をクリアしなければなりません。

このような多岐に亘る課題、複雑なシステム構築においても全てAFS 1社のみで手掛け、ロス削減による最大利益確保を実現できることが当社の強みであり、他社が追従できない所以です。

★ASP基幹業務サービス全体概要



大手外食チェーン企業様を中心に全国規模での導入実績を誇ります。

今期、ファミレスからファーストフードまであらゆるフードビジネスをサポートする**業界初!**縦置き横置き兼用PC-POSシステム『**FOOD α 5000**』をリリースいたしました。

今後の外食マーケットへの参入拡大を図るために、ファミレスからファーストフードまであらゆるフードビジネスをサポートする万能型PC-POSシステム『**FOOD α 5000**』を今期リリースいたしました。

『**FOOD α 5000**』は、FOOD α シリーズの第四世代目にあたるPC-POSシステムですが、今回、考案～製品化に至るまで全工程をAFSが監督しており、これまでとは一線を画したハード&ソフトスペックを実現しております。

業界初の縦置き横置き兼用スタイル、またお店のレジカウンターの状況に合わせて、ディスプレイ、キーボード、プリンタを自由に配置できる仕様となっており、あらゆる業態に対応できます。

内部構造においては、記憶装置に**業界初**のSSDを採用したことにより、従来よりもデータの安全性が大幅に高まり、更にSSD 2台搭載（RAID仕様**業界初**）でのバックアップ機能や、トラブルを事前回避できる経年劣化予知機能で、他社との差別化を図りました。

今後の『**FOOD α 5000**』にぜひ、ご期待下さい。



★20年以上に亘って結集されたPOS会計システムのノウハウと業界初のハード仕様。
あらゆる店舗業務ソリューションを可能とする『**FOOD α 5000**』で、新たなマーケット拡大を図ってまいります。



様々なアライアンス製品を当社ブランドとして投入し、周辺サービス事業の強化を図りました。

今期、周辺サービス事業の一環に加わったアライアンスサービス「バリューカード」「座席指定のアルツール」は、何れも高度な技術力を有するオンリーワンビジネスモデルのWebサービスです。

この二つに共通するテーマは‘顧客’ですが、当社ASP業務サービス及び店舗情報システムの拡張にあたる役割を担っているため、主軸の製品をも強化し、すでに販売活動における有力な切り口となっております。

今後も、共に当社ブランドとして外食マーケットに浸透させてまいりますので、ぜひご期待下さい。

valuecard バリューカード



FOOD & 5000

『バリューカード』は、繰返しチャージが可能な電子マネー型カードで、ブランディング、集客促進、顧客囲い込みを行ないながら、キャッシュフローを良好化するサーバー管理型プリペイド決済システムです。

すでに大手居酒屋チェーンにもご導入いただき、その効果をご評価いただいております。

座席指定の『アルツール』



座席指定の『アルツール』は、Web上から飲食店のリアルタイムな空席状況とフロアレイアウトを見ながら、座席指定予約が行なえる世界初の飲食店専門リアルタイム予約サイトです。

24時間365日、コンシューマーが好きなお店の希望する席を予約できるというのも魅力ですが、店舗側での管理ツールが非常に充実しており、チェーン店の予約／顧客管理ツールとして注目されはじめております。

※現在、技術特許申請中

事業の概況

経営成績

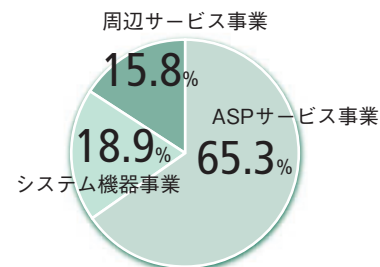
売上高		2.7%UP
第15期	第16期	
1,789 百万円	1,837 百万円	
営業利益		15.6%UP
第15期	第16期	
26 百万円	31 百万円	
経常利益		39.9%UP
第15期	第16期	
17 百万円	24 百万円	
当期純利益		46.3%UP
第15期	第16期	
3 百万円	5 百万円	

当事業年度におけるわが国経済は、世界的な金融不安による实体经济の低迷が継続している中、企業収益の回復は不透明であり、雇用情勢の悪化が個人消費を低迷させております。

当社の主要販売先である外食産業におきましても、消費者の所得環境が厳しさを増す中で、節約志向、商品の値下げ等、厳しい環境が続く、新規出店の抑制、設備投資計画の見直し及び長期化が生じております。

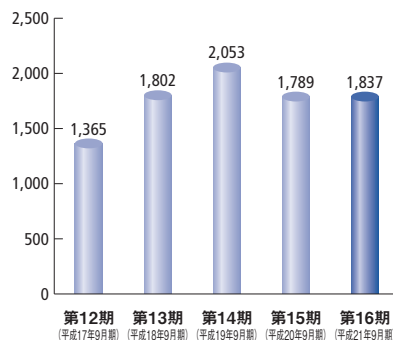
このような環境のもと、引き続き大手外食チェーンを中心に主力サービスである「ASP基幹業務サービス」、当社企画の「オーダーショット」を中心とした営業活動を行ない、大型展示会への出展及び販売提携先の拡充を図り、新規顧客へのシステム導入及び既存顧客の追加サービス導入を行なってまいりました。その結果、外食産業の設備投資計画の見直し及び長期化により、システム機器事業が計画を下回ったものの、ASP基幹業務サービス及び周辺サービス事業の受注がほぼ計画通り推移しました。当事業年度の売上高は1,837,978千円（前事業年度比2.7%増）となりました。利益面に関しても、販路拡大のため販売手数料、販売促進費等の増加及びシステム機器事業が計画を下回ったものの、収益性の高いASP基幹業務サービスの月額サービス料が1,000,245千円（前事業年度比9.1%増）と順調に推移し、営業利益31,150千円（前事業年度比15.6%増）、経常利益24,110千円（前事業年度比39.9%増）、当期純利益5,523千円（前事業年度比46.3%増）となりました。

事業別売上高構成比率（第16期）



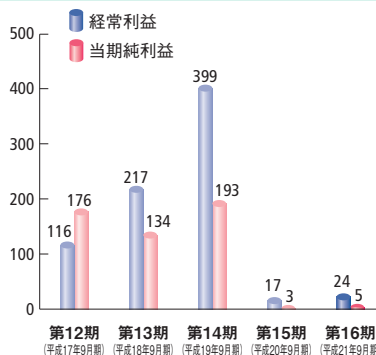
売上高

(単位：百万円)



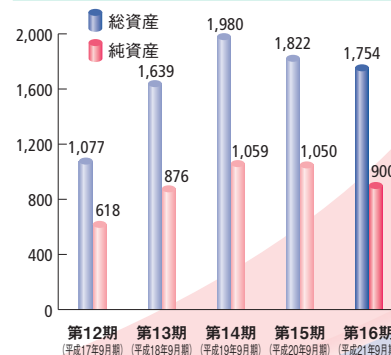
経常利益・当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

(単位：百万円)



財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当事業年度 (平成21年9月30日現在)	前事業年度 (平成20年9月30日現在)	科 目	当事業年度 (平成21年9月30日現在)	前事業年度 (平成20年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	1,382,216	1,498,293	流動負債	846,374	765,438
現金及び預金	590,829	570,654	買掛金	98,322	107,965
売掛金	234,529	280,833	短期借入金	629,000	550,000
商品	523,862	566,031	未払金	20,415	20,687
貯蔵品	679	826	未払費用	8,764	8,091
前払費用	18,586	60,720	未払法人税等	6,350	2,837
繰延税金資産	17,103	22,931	預り金	9,514	9,480
その他	1,761	2,446	前受金	47,390	50,874
貸倒引当金	△ 5,136	△ 6,151	賞与引当金	13,921	14,863
固定資産	371,950	323,922	その他	12,696	638
有形固定資産	156,234	143,806	固定負債	7,562	6,071
建物	12,022	14,106	退職給付引当金	7,562	5,486
工具器具備品	59,782	79,271	その他	—	584
土地	20,429	20,429	負債合計	853,936	771,510
建設仮勘定	64,000	30,000	純資産の部		
無形固定資産	54,009	10,157	株主資本	900,230	1,050,705
ソフトウェア	398	7,712	資本金	534,904	534,730
ソフトウェア仮勘定	51,166	—	資本剰余金	143,599	143,599
電話加入権	2,445	2,445	利益剰余金	353,842	373,250
投資その他の資産	161,706	169,958	自己株式	△ 132,115	△ 874
出資金	112	119	純資産合計	900,230	1,050,705
長期前払費用	905	1,036	負債・純資産合計	1,754,167	1,822,216
敷金及び保証金	14,658	14,921			
繰延税金資産	36,580	40,276			
長期未収入金	166,846	167,622			
その他	2,456	2,210			
貸倒引当金	△ 59,853	△ 56,229			
資産合計	1,754,167	1,822,216			

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	（平成20年10月 1日から 平成21年 9月30日まで）	（平成19年10月 1日から 平成20年 9月30日まで）
売上高	1,837,978	1,789,240
売上原価	1,115,506	1,076,166
売上総利益	722,471	713,074
販売費及び一般管理費	691,321	686,129
営業利益	31,150	26,945
営業外収益	1,067	1,738
営業外費用	8,106	11,451
経常利益	24,110	17,232
特別利益	—	5,223
特別損失	4,531	10,034
税引前当期純利益	19,579	12,421
法人税、住民税及び事業税	4,531	1,521
法人税等調整額	9,524	4,623
過年度法人税等	—	2,501
当期純利益	5,523	3,774

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	（平成20年10月 1日から 平成21年 9月30日まで）	（平成19年10月 1日から 平成20年 9月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	182,442	△ 188,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 89,174	△ 44,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 76,593	△ 11,427
現金及び現金同等物の増減額	16,674	△ 243,948
現金及び現金同等物の期首残高	570,654	814,603
現金及び現金同等物の期末残高	587,329	570,654

株主資本等変動計算書 当事業年度（平成20年10月1日から平成21年9月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本							純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金			利益剰余金			
		資 準 備 金	資 剰 余 金 計	本 金 計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利 剰 余 金 計	自己株式	
平成20年9月30日 残高	534,730	143,599	143,599	373,250	373,250	△874	1,050,705	1,050,705
事業年度中の変動額								
新株の発行	174						174	174
剰余金の配当				△24,931	△24,931		△24,931	△24,931
当期純利益				5,523	5,523		5,523	5,523
自己株式の取得						△131,240	△131,240	△131,240
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）								—
事業年度中の変動額合計	174	—	—	△19,408	△19,408	△131,240	△150,475	△150,475
平成21年9月30日 残高	534,904	143,599	143,599	353,842	353,842	△132,115	900,230	900,230

会社概要・株式の状況

■会社概要 (平成21年9月30日現在)

社名	株式会社アルファクス・フード・システム (ALPHAX FOOD SYSTEM CO., LTD.)
創業	平成5年12月9日
資本金	5億3,490万4,306円
代表者	代表取締役社長 田村隆盛
事業内容	外食企業向け 1.ASP方式による各種イントラネット基幹業務サービス 2.システム機器の企画・販売 3.ハードウェア・ソフトウェアの全国メンテナンスサービス 4.Webによる業界専用ポータルサイト (外食総合eマーケットプレイス)の運営・提供
本社	〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目11番2号 TEL(0836)32-5161(大代表)FAX(0836)32-2292
データセンター	〒755-0052山口県宇部市西本町二丁目14番30号
従業員数	99名

■役員一覧 (平成21年12月26日現在)

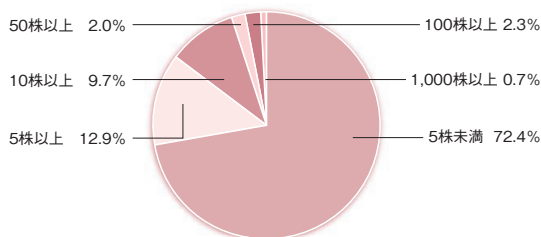
代表取締役社長	田村隆盛
取締役	宇多田純三
取締役	松崎常男
取締役	福田省吾
取締役	河原克樹
常勤監査役	溝部和昭
監査役	古閑謙士
監査役	堀江義光

■株式の状況 (平成21年9月30日現在)

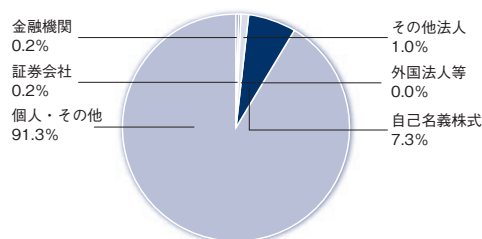
発行可能株式総数	91,704株
発行済株式の総数	24,985株
株主数	402名
大株主	

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田村隆盛	13,357	57.6
鎌田英哉	4,500	19.4
加藤繁夫	787	3.3
根津孝一	695	3.0
藤井裕史	572	2.4
江藤鉄男	293	1.2
田村隆次	164	0.7
田村清隆	150	0.6
東和メックス株式会社	150	0.6
木山貴英	147	0.6

■所有株式数別株主数比率



■所有者別株式数比率



アルファクス・フード・システムの主要製品

全国の外食産業 7,054[※]店で活躍しています!

※ASP契約店舗数を含む



複数の店舗業務をカバーするマルチ多機能端末

入力端末となる「Handy shot」は、1台8役（一般オーダー、棚卸、発注、検品、テーブルオーダー、勤怠打刻、トレーサビリティ、アンケート入力）をこなすマルチ多機能端末です。



FOOD GENESIS 21
オーダーショット

FOOD GENESIS 21
Handy shot

- 「オーダーショット」は、マルチ多機能端末「Handy shot」をはじめ、店舗でのオーダー業務に最も重要視される操作性、レスポンス、メンテナンス性という基本性能を従来のものより飛躍的にレベルアップさせ、オーダーエントリーシステムの新時代を切り拓きました。これからも「オーダーショット」は、新しい可能性の追求とともに一層、製品の充実を図ってまいります。

業界初の縦置き横置き兼用で、ファミレスからファーストフードまであらゆる業態に対応!

20年以上に亘るPOSシステムのノウハウが結集した最新型フードビジネス専用PC-POSシステムです。



FOOD 5000

株主メモ

事業年度
定時株主総会
上記基準日
剰余金の配当基準日
株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同事務取扱場所
同連絡先
公告方法

10月1日から翌年9月30日まで
事業年度終了後3カ月以内
9月30日
毎年9月30日及び中間配当の支払いを行なう時は3月31日
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711（フリーダイヤル）
電子公告により行ないます。
但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行ないます。
なお、電子公告記載の当社ホームページアドレスは以下のとおりです。
<http://www.afs.co.jp/>

株主の皆様へ当社の各種情報を提供する
ホームページを開設しています。
<http://www.afs.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリース、新製品に関することなど、さまざまな情報を提供しています。



—— 食文化の発展に情報システムで貢献する ——
株式会社 **アルファクス・フード・システム**

〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目11番2号
TEL (0836) 32-5161 (大代表) FAX (0836) 32-2292